

「オンライン版 宮澤喜一関係文書」刊行にあたって

近代日本史料研究会代表

伊藤 隆

(東京大学名誉教授・政策研究大学院大学名誉教授)

宮澤氏との関係は、私が中心になって「小川平吉関係文書」の整理と主要文書の翻刻（『小川平吉関係文書』1・2、みすず書房、昭和四十八年）を行った際に、小川家が慰労会を下さったが、その際に小川の孫に当たる宮沢氏もお出でになって、お礼を言われた事から始まっている。その後も何かとお目にかかる機会があり、平成十六年の二月・六月と十八年六月にお話しを伺う事が出来た。

この時に色々話している内に、「小川平吉関係文書」の事に触れ、日本ではアメリカのように大統領記念館（日本で言えば首相記念館）を政府が造ってくれるわけではないのだから、宮澤さんの場合どうなさるお積りかと伺ったところ、どうしたらよいか考えているところだとおっしゃるので、私にお任せ頂けないでしょうかと申し上げた。即座に了解して下さい、事務所の書類庫に案内して下さい、全部持って行って宜しいという事であった。大臣秘書官時代から総理退任後に至るまで、ダンボール100箱近くに及ぶ大量の原史料群で、平成十九年度に漸く目録を刊行することが出来るに至った。

あれから十四年余りが経ち、この「宮澤喜一関係文書」がオンライン版として刊行されることとなった。オンライン版刊行を機に、より一層の活用を願ってやまない。